

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成19年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をさせていただけるようお願いいたします。

調査結果の概要

1 教科学習状況調査結果

<国語・算数>結果

国語・算数共に全国並びに県のものとはほぼ同様の結果でした。全国の傾向については、文部科学省より「知識を中心とした指導の成果は出ているが、活用力に問題がある。」といった分析結果が公表されていますが、本校6年生も概ね同様の傾向が見られました。

よい状況と考えられる内容

指導・改善が必要と考えられる内容

<国語>

〔主として知識をみる問題〕

漢字を読んだり、接続語を正しく使ったり、指示語の指し示す内容を理解する力があります。

漢字を書いたり、文章の内容を理解し構成し直したりする力がやや弱いようです。

〔主として活用力をみる問題〕

人の意見や提案を正しく受け止め、みんなが納得するように進めることができます。

二つの文章の共通点をまとめたり、文章の内容と資料の情報とを関連付け正しく読んだりする力はやや不足しています。

<算数>

〔主として知識をみる問題〕

整数、小数、分数の計算をしたり、図形の面積を求めたりする力は身に付いています。

混合計算や計算の意味を説明する力がやや弱いようです。

〔主として活用力をみる問題〕

棒グラフなどの読み取りについては力が付いています。

与えられた情報や資料を整理して読み取る力が不足しています。

2 質問紙調査結果

学校生活を楽しんでいると感じている子が多いです。

今すんでいる地域を好きと感じている子が多い反面、歴史や自然についての関心は薄いようです。

将来の夢や目標をもって取り組んでいる子が多いようです。
国語や算数の勉強は大切だと思っている反面、学習したことを実際の生活に使う
と考えている割合が低いです。
朝食を毎日食べている児童は多いようです。
宿題はやるけれど、予習・復習についてはやっている子が少ないようです。
身の回りのことについては、積極的に自分ではやらない傾向にあります。
家の人と一緒に運動やスポーツをしている子が少ないようです。

3 今後の取組

上記の結果から、基礎的基本的な学習は身に付いていると考えられるので、更に、日頃の授業の学習内容や指導法の振り返りを行い、基礎基本のさらなる定着のための指導法の改善が必要と思います。

知識の活用能力育成のために、自分の考えをメモしたり、友達の意見を考えながら聞いたりする授業の充実がこれまでに以上に必要と考えられます。また、読書活動を更に推進したり、インターネットで調べた資料の吟味をしたりするなどのきめ細かな指導を大切にしていきます。

自ら課題を見つけ、解決していく力を育てていくために、日々の授業、一時間一時間の学習を大切にしていきます。